# 奈良県治山事業促進協議会と技術支援協定を締結しました

□奈良県コンクリート診断士会は、令和4年2月8日、奈良県治山事業促進協議会との技術支援協定を締結しました(写真-1)。その内容は森林土木施設の点検診断や維持修繕計画などに対する技術支援、研修会への講師派遣などの地域貢献を通じて会員の技術力向上を図ることを目的とするものです(写真-2)。地域のコンクリート診断士会が、県や道路メンテナンス会議と技術支援協定を締結した事例は、島根県や福井県の事例がありますが、森林土木施設を対象に技術支援協定を締結した事例は、全国で初めてのこととなります。協定締結にご尽力いただいた関係者の方々に感謝申し上げますとともに、微力ではありますが、社会インフラとしてのコンクリート構造物の長寿命化に努力していく所存です。

## (写真-1)



## (写真-2)



# 奈良県治山事業促進協議会との協定締結が報道されました

口奈良県コンクリート診断士会は、令和4年2月8日、奈良県治山事業促進協議会と技術支援 協定を締結しました。その内容が奈良新聞(写真)や奈良テレビニュース

(https://naratowa.jp/index\_cate.html?c=909460998559007889) で報道されましたので、 お知らせします。

令和4年 (2022年) 2月9日

书

カカノトルトルトレートイ

産を守る治山ダムや林道橋 するため、県内31市町村で つくる県治山事業促進協議 などの構造物を適切に維持 山地での災害から命や財 会(会長=角谷喜一郎・野

一会長、約40人) と技術支援 ランティア団体の県コンク リート診断士会(葛目和宏 迫川村長)は8日、民間ボ

だ。 協定を結ん

2年度までに1回目の点検

(524カ所) などは令和

理の治山ダム(1153カ 寿命化計画に基づき、

所)や市町村管理の林道橋

法人日本コ は公益社団 ンクリート 同診断士 になる。 定期点検や修繕対策などに を終えたが、今後継続的な 専門的な知識や技術が必要

ほか、研修会への講師派遣 定によって定期点検や健全 の減少が課題で、今回の協 などを技術職員の育成につ 度判定、修繕方法などに対 なげたい考え。 する指導や助言を得られる 方、 自治体は技術職員

資格で、 定する民間

上学会が認

# 県治山事業促進協と県コンクリート診断士会

いさつ。 ンフラの長寿命化に貢献で 自治体の課題解決や社会イ 葛目会長は「これからも

ろしくお願いします」とあ 幅広い知見からご指導をよ 的に維持していくために、

迫川村北股の村役場 野迫川村長(左)と葛目会長=0日、野調印を交わした協定書を手にする角谷・ 野

寿命化技術 に詳しい。 化診断や長 構造物の劣 ンクリート 林野庁の

野迫川村北股の村役場で

支える森林士木施設を永続 災害に強い森林づくりを

締結式があり、角谷会長は

きれば」とこたえた。